

# 地域おこし協力隊（林業振興）

## 作業報告書

作業日	令和4年4月20日～4月22日	作業場所	林道細田線
作業員	大野、吉田		
作業内容	落ち葉や枝について、林道に散乱している分は竹箒や熊手を用いて、側溝内にたまっている分はスコップを用いて清掃を行った。林道の路側帯まで見えるようになり、側溝の詰まりが解消された。		
	〈作業前〉		〈作業後〉
	➡		
	➡		
	➡		

# 地域おこし協力隊（林業振興）

## 作業報告書

報告者：吉田

作業日	令和4年4月26日～4月28日	作業場所	山田再造林現場
作業員	26日：大野、吉田 27日：斎藤、市川、福田、吉田 28日：大野、吉田		
作業内容	トーセンが再造林を実施する現場に同行し、指導のもと、植え付け及び地拵えを共に実施した。26日、27日は植え付けをし、250～300本程のスギ苗を植え付けた。28日は午前地に地拵え、午後に植え付けの続きを行い、予定していた量の植え付けを終えた。		

〈作業前〉

〈作業後〉



作業風景



# 地域おこし協力隊（林業振興）

## 作業報告書

報告者：吉田

作業日	令和4年5月10日～5月18日	作業場所	林道滝線
作業員	大野、吉田		
作業内容	入口付近に散乱している枝葉を清掃し、路側帯まで見えるようになった。側溝内の枝葉や土を除去し、側溝の詰まりを解消し、排水機能が回復した。林道の倒木を除去し、車両が通行しやすくなった。		
	〈作業前〉		〈作業後〉
	➡		
	➡		
	➡		

# 地域おこし協力隊（林業振興）

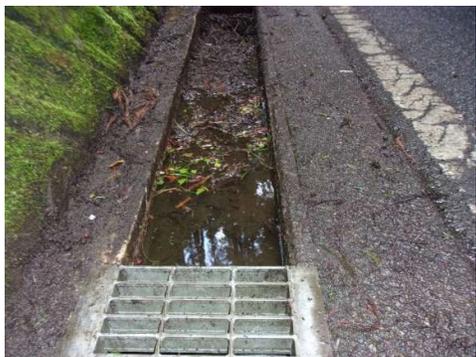
## 作業報告書

報告者：吉田

作業日	令和4年5月24日～5月26日	作業場所	林道寺山線
作業員	大野、吉田		
作業内容	林道に散乱している枝葉を竹箒や熊手を用いて清掃することにより、路面がよく見えるようになり、走行しやすくなった。また、側溝内にたまっている枝葉や土を、スコップを用いて掘り出すことにより、側溝の詰まりが解消され、排水機能が回復した。		
〈作業前〉		〈作業後〉	
	➔		
	➔		
	➔		

# 矢板市地域おこし協力隊（林業振興）

## 作業報告書

作業場所	林道鳴神線	報告者	吉田
作業日	令和4年6月1日～6月9日	作業員	大野、吉田
作業内容	側溝内に枝葉や土がたまり、雨天時には道路に雨水が流れ出ていたが、側溝内及び柵内の清掃を行い、詰まりが解消し、雨天時でも雨水が流れ出なくなった。また、路面の掃き掃除を行い、側溝を覆っていた枝葉を除去し、側溝や路側帯が見えるようになった。		
	〈作業前〉		〈作業後〉
		➡	
		➡	
		➡	

## 矢板市地域おこし協力隊（林業振興）

### 作業報告書

作業場所	林道平野線	報告者	吉田
作業日	令和4年6月21日～7月27日	作業員	大野、吉田、室井
作業内容	草が繁茂している箇所草刈りを行い、車両が通行する際に草が当たらないようになり、ガードレールが見えるようになる等、視界を確保し、安全に車両が通行できるようになった。林道内にて、雨が流れて削れてしまっている箇所を埋めるとともに、仮の排水路を確保することで、水はけを改善した。		
〈作業前〉		〈作業後〉	
			
			
			

# 矢板市地域おこし協力隊（林業振興）

## 作業報告書

作業場所	市有林 15 林班準林班 35 小班整備 (第1期)	報告者	吉田
作業日	令和4年7月20日～9月5日	作業員	大野、吉田、室井
作業内容	広葉樹植栽後、手入れが入ってなかった市有林の整備を行った。植栽木及び今後残す木を選木し、マーキングした後、手のこ、手鎌、刈払い機を用いて下刈りを実施した。道路から作業道まで見通しが利くようになり、作業道を歩行できるようになった。今までつるなどによって日光がさえぎられていた樹木にも日光が当たるようになり、今後のよりよい生育が期待できるようになった。		
	〈作業前〉		〈作業後〉
		➡	
		➡	
		➡	

# 矢板市地域おこし協力隊(林業振興)

## 作業報告書

作業場所	林道 寺山線	報告者	室井
作業日	2022年7月26日～2022年9月13日	作業員	大野、吉田、室井
作業内容	清掃作業前後の写真を、一部抜粋し記載する。		

<作業前>



# 矢板市地域おこし協力隊（林業振興）

## 作業報告書

作業場所	林道枝持沢線	報告者	吉田
作業日	令和4年9月12日	作業員	大野、吉田、室井
作業内容	林道枝持沢線にて、山から流れ出た水が柵の中に落ちず、路面にあふれていた。 砂利や土を敷いて排水路を確保し、路面に水があふれないように処置を行った。		

〈作業前〉

〈作業後〉



# 矢板市地域おこし協力隊（林業振興） 棕

## 作業報告書

作業場所	林道荒井線	報告者	吉田
作業日	令和4年8月25日～10月20日	作業員	大野、吉田、室井
作業内容	林道荒井線の草刈りと倒木の除去を行い、車両が走行できるようになった。 大野隊長の指導のもと、刈払機及びチェーンソーを使用して作業を行い、安全な操作方法や不安定な状態の倒木の処理の仕方を学んだ。		

〈作業前〉

〈作業後〉



〈作業風景〉

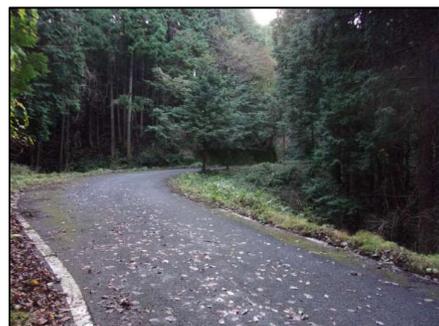


# 矢板市地域おこし協力隊(林業振興)

## 作業報告書

作業場所	林道 寺山線	報告者	室井
作業日	2022年10月24日～2022年11月14日	作業員	大野、吉田、室井
作業内容	清掃作業前後の写真を、一部抜粋し記載する。		

<作業前>



矢板市地域おこし協力隊（林業振興） 椋

作業報告書

作業場所	立足（スギ植林イベント予定地）	報告者	吉田
作業日	令和4年11月10日～11月30日	作業員	大野、吉田、室井
作業内容	12月3日にスギ植林イベントを実施するに当たり、会場の下準備を行った。皆伐地の草刈りを行い、植林予定範囲内に、巻尺及び2mの棒を用いて植栽位置を決め、杭を打ちテープで印をつけた。植栽間隔は2mとし、杭は現地にある枝などを利用した。		

〈作業前〉

〈作業後〉



# 地域おこし協力隊（林業振興） 椋

## 講習会・研修会報告書

報告者：吉田弘一

講習会名	スギ植林イベント
参加日時	令和4年12月3日 9:00~13:00
会場	矢板市立足地内
参加者	大野、吉田、室井

### 概要

矢板市林業・木材産業成長化推進協議会が主催した立足の皆伐地で行われたスギ植林イベントに参加した。参加者は関係者、一般参加者合わせて44名。矢板市役所に集合し、現場へ移動、市長と穂野矢板森林管理事務所長から挨拶をいただき、たかはら森林組合の高瀬室長より植樹方法の説明を受けた。その後、道具を参加者に配布し、植林開始となった。

植栽位置を事前に杭を打ち示しておいたこと、指導員に参加者を誘導してもらったことにより、スムーズにスタートした。椋のメンバーは、植林が初めての方への支援、苗木運び、植栽漏れの確認や杭の回収など、サポートに回りながら、植栽を行った。終盤、植栽位置を示した杭が足らなくなってしまったため、2mの棒で間隔を測りながら植栽したため、ばたついてしまったが、予定の500本の植栽を無事終了した。



写真1 植栽の様子

植栽後は忌避剤の散布実演、クイズ大会や植林マッチングシステムの説明があり、有志の方からの炊き出しをいただいて、盛況の中、終了となった。

矢板市内でも皆伐後の再生林が遅れているとのことだが、このような活動が広がり、次世代へ森林が繋がっていくため、今後継続して少しでも携わっていければと思った。椋の担当した準備での不足もあったので、次回何か行うときの反省とし、いかしていきたい。



写真2 植林後の苗の様子

矢板市地域おこし協力隊（林業振興） 椋

作業報告書

作業場所	林道桜久保線	報告者	吉田
作業日	令和4年12月16日～12月19日	作業員	大野、吉田、室井
作業内容	林道桜久保線にて、草が伸びていたため、刈払機を用いて草刈りを行った。また、倒木があったので、チェーンソーを用いて除去した。林道の見通しが改善され、車両がより安全に通り返られるようになった。		

〈作業前〉

〈作業後〉



## 矢板市地域おこし協力隊(林業振興)

### 作業報告書

作業場所	経営管理権集積計画 館ノ川-1 広葉樹林	報告者	室井
作業日	2022年12月7日、8日、14日	作業員	大野、吉田、室井
作業内容	経営管理権集積計画 館ノ川-1の下刈り、枯木除去を行う。 合わせてGNSSソフトの試行を行う。		

＜作業前＞		＜作業後＞
-------	--	-------

#### ①林内下刈作業



図1: 林内前歴①



図3: 林内後歴①



図2: 林内前歴②



図4: 林内後歴②

#### ②GNSSソフト 試行作業



図5: GNSS 測定中①



図6: GNSS 測定中②

#### 【結果】

館ノ川-1 広葉樹林 林内の下刈り、枯木除去を行い、林内環境・見通しが改善した。  
林内でGNSSソフトを使用し、林内でもGPS情報が取得できることを確認した。

# 矢板市地域おこし協力隊（林業振興）

## 作業報告書

作業場所	市有林 15 林班準林班 35 小班	報告者	吉田
作業日	令和 4 年 12 月 20 日 ~ 令和 5 年 3 月 16 日	作業員	大野、吉田、室井
作業内容	令和 5 年度に取組み予定のシカ忌避剤に使用する「辛富士」栽培の際に、支柱として使用する篠竹を採取した。 林内で伸びている篠竹を刈り、利用することにより、見通しや光環境の改善にもつながった。		

〈作業前〉

〈作業後〉



〈作業の様子〉



刈った篠竹を平らな場所へ移動し、1m の長さに切りそろえた。支柱として使用しない部分については、林内に集積した。



切りそろえた篠竹を 100 本 1 束とし、麻ひもで結びまとめた。使用予定の 3200 本+予備の篠竹を集め、東泉の活動拠点（泉の木守屋）に保管した。